

## さくらっこ便り 2018年8月25日号

### さくらっこ広場通信 第37号

夏休みの終わりは、野外保育「みちのく自然共生園」で完全燃焼しました！

貸し切りバスに、親子9組24名のみなさん、そして、こども保育コース1年生学生が8名と食物栄養専攻の2年生が2名、教員2名の総勢36名で出かけてきました。

隣県の宮城県川崎町のみちのく自然公園北区の自然公園での野菜収穫と自然探索の体験保育を行うようになって、今年で5回目になりました。

今年は、「命を脅かす」ほどの猛烈な暑さが続き、野菜の生育も危ぶまれましたが、なんと、これまでにないほど、じゃがいもがたくさん収穫できました。それから、枝豆も各家庭2株ずつ、学生や教員も全員2株（たわわに実っていましたよ）しっかりとって、とても満足な収穫体験となりました。

じゃがいもの収穫量は本当にびっくりで、二畝全部掘ってよいということで、掘るは、掘るは・・・そして出てくる、出てくる、ここ掘れワンワン・・・みな泥まみれでしたが、困るほど（！！）お持ち帰りとなりました。

それにしても、夢中で収穫したり遊んだりするさくらっこたち・・・毎年の成長が眩いばかりです。

次回9月29日の広場では、このジャガイモを使った夏野菜のカレーを作る予定です。みなさんふるってご参加くださいね。





雨が止むのを待っている間も、なんだか楽しそうなみんなです。

パパたちがこんな話をしていました。「子どものころ、こんな草で、半ズボンの足をたたいて遊んだ気がする。男の子ってね。」「あれって、結構痛かったよ。足にビシッと跡がついたりしてさ・・・」

なんか、雨が降ってもワクワクする子どもの時の気持ちをみんなで味わっていたひと時でした。



まずは、枝豆から・・・みんな最初から気合が入っています。

「収穫をしに来た」と、しっかりわかっている子どもたちが、多くなったように思えます。お父さんや、お母さんの気合がそうさせているのでしょうか・・・いや、子どもたちの実力がついてきたのでしょうかね。









学生の会話も面白いです。「枝豆って、どうやって食べるの?」・・・こども保育コース一人暮らしの学生です。おいしく、ゆでて食べてね。







どの家族にも、すてきなストーリーがあるなあ・・・と、ひたすらシャッターを押して眺めているだけの私ですが、本当に幸せを分けていただいている時間です。  
それにしても、持って帰るのが大変なくらいの収穫量です。



食物栄養専攻の学生たちと木下先生

初めて参加のKちゃん

最高気温は、30℃をもちろん超えていたのですが、山の風は気持ちよくて、いつまでもここにいたいような、気持ちのよさでした。

野菜収穫ももちろん、この後の自然散策も、すべて満足できた、5年目で初めての経験でした。本当に、夏の終わりを満喫し、完全燃焼した思いです。

さくらっこのみなさん！きっと、2学期もいいことがありますね！！

お元気で！

<9月、10月の予定>

9	29	誕生会(8月・9月) *夏野菜のカレー作り
10	13	秋の風を楽しもう
10	20	秋の風を楽しもう
10	27	松ぼっくりを拾おう

<連絡先>

狩野奈緒子 (桜の聖母短期大学 こども保育コース)

[naoko-k@ssjc.ac.jp](mailto:naoko-k@ssjc.ac.jp)